

# 子どもの個性を伸ばす

こうちょう ながの ひでき  
校長 長野 秀樹

「その長ずるところを貴び、その短ずるところを忘る。」

これは、三国志の武将である孫権（西暦182年～252年）の言葉です。

孫権は部下を育てることが巧みなことで有名な武将でした。この言葉の意味は、「短所には目をつぶって、専ら長所を発揮できるように仕向けて部下を育てる。」です。

さて、子育てをするときに、私たち大人が気を付けなければならないことは、どの子どもにも得意なこと・苦手なこと、長所・短所があるということを理解することです。子どもの得意なことや長所を認め伸ばすとともに、苦手なことや短所を責めるのではなく、手助けしたり励ましたりして、少しずつ克服させ、子どもの成長を共に喜ぶような姿勢が大切であると考えます。

子どもに教えるとき、「あれもダメ。これもダメ。」という減点主義で臨むのか、「あれもいい。これもよくなった。」という加点主義で臨むのか、そのいずれかをとることによって、子どもの成長が左右されると思います。私自身、日々、子どもと接する中で、反省させられることが多いです。



1学期も残すところ1か月となりました。学校と家庭が一緒になって、子どもが学習面・生活面・運動面などで、がんばったことや成長したことを共に喜び、認め、さらに成長するよう励まし、やる気を高めながら1学期のしめくりができるようにしていきましょう。

## 【子どもの個性を伸ばす言葉の例】

- |            |                        |              |
|------------|------------------------|--------------|
| ☆ ○○がいいね！  | ☆ すごいね！                | ☆ ○○の才能があるよ！ |
| ☆ きっとできるよ！ | ☆ がんばったね！              | ☆ よくできてるね！   |
| ☆ 一緒にやろう！  | ☆ お父さん（お母さん・先生）もうれしいよ！ |              |